

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード
でブログ閲覧



インターン生と国会へ

父兄が学校で測定 1.001 μ SV/h 検出 検査機関が 7676.92 Bq/kg 含有と認定

町田市は、測定した大気中の放射線量が、地上 1m で 0.03~0.11 マイクロシーベルト/時(以下、 μ sv/h と表記します)、地上 5cm で 0.03~0.14 μ sv/h であり、全ての地点で環境省が示した基準値である 0.23 μ sv/h より低い値だったと発表しました。→町田市は自前の測定器を持たず、東京都から借りて計測してきましたが、この結果に基づき測定器を返却する考えです。→町田市は、これにて放射能問題は全て終了と言う発想と思われます。



しかし、町田市の現実の状況は大きく異なり、各地で放射線量が高いところが住民の手によって計測されています。特に、学校内の建物の雨どいの下などでは、より高い放射線量が検出されています。その自主的な測定には複数の機種が用いられていますが、以下の記述では、その自主測定で使用された日本製の堀場製作所 PA-1000R a d の数値を採用しています。ブログでは全機種の数値を掲載。

例によると、最初に父兄による自主測定が行われた忠生地区小学校内の側溝の空中放射線量の数値は、以下の通りです。

0.996 μ SV/h (測定画像があり、ブログに掲載) 最大 1.001 μ SV/h を記録した動画もあります。町田市が測定したその学校の数値(グラウンド中央付近)では、高さ 5cm で 0.06 μ SV/h であり、町田市測定の数値と比べ、自主測定(動画)数値は 16.68 倍に達しています。

また、忠生地区の別の小学校でも父兄による自主測定が行われました。その学校の町田市の記録は 0.05 μ sv/h であり、自主測定数値は 0.744 μ sv/h (測定画像があり、ブログに掲載) であり、その数値の 14.88 倍になっています。(参考:目視の数値では 0.767 μ sv/h)

町田市の測定では、それらの学校の数値は近隣の他の学校より低く、他の学校ではもっと高い数値が検出される可能性があります。

検体を教育委員会と市長室に提出

上記場所の土壌を学校の父兄が採集して、民間の検査機関(株式会社 八進)に放射能測定を依頼すると、7676.92 Bq/kg もの放射性物質数値が検出されました。

この数値は、町田市下水処理場で発生する汚泥焼却灰の放射性物質よりはるかに多い数値であり、その汚泥焼却灰は、町田市は市外の埋め立て処分場に移送するものですが、小学校ではその場に放置した状態です。

こうした状況を行政に対して直に訴えるために、私はその検体の土壌を父兄から託され、町田市長室と教育委員会に提出し、問題解決を依頼しました。町田市が他の自治体のように、「ホットスポット」と思われる場所の測定と除染を実施すよう願っています。

★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> 発見動画チャンネル <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード
でブログ閲覧



双方向の情報交流

JAXA でははやぶさを見学

相模原市議会との交流会が開催されました。見学先は宇宙航空研究開発機構 (JAXA) と相模原市南清掃工場でした。まず、JAXA では小惑星「イトカワ」から無事帰還した宇宙探査機「はやぶさ」などを見学しました。

前の「事業仕分け」の対象になりかけ、例の「2 番ではいけないんですか」でさらに有名になったものが、この JAXA が研究対象にしている事業です。ここでは製作メーカーと一体になって、ロケット・人工衛星・宇宙観測・宇宙ステーション・高度航空機・高度気球などの実地研究を重ねていました。



その日の説明員の方は、「はやぶさ」のカプセルが地球に戻ってきた時に、着地点に待っておられた方でその時の状況がリアルに聞きました。高所に上げる成層圏気球では、日本が高度 53km を達成したことで、アメリカの記録を上回り、今でも維持しているとのことでした。性能では、厚さが 2.8 マイクロメートルのフィルムを開発し、さらにその記録を上回る記録を目指しているとのことでした。

* 右上の写真は、はやぶさの展示スペース



相模原南清掃工場訪問

町田市の清掃工場である町田リサイクルセンターの寿命がいずれ来る事になり、その後継施設をどこに、どのような規模で造るのが町田市の大きな課題になっています。小金井市では、現在、自前のごみ焼却場がなく、新たな施設が出来る目途が立たず、他市にごみ焼却を依存している状況を巡って、市長が辞職するケースに至っています。

11 月 7 日に現地見学した相模原市の南清掃工場は、既存の焼却施設の隣に空きスペースがあって、そこに新たな施設が完成しており、現在はスムーズに操業されている状況でした。町田市とは違って、焼却ごみのほぼ全部を熔融する方式の施設ですが、市内に埋め立て処分場を有している点が大きな違いでありました。町田市の場合は、焼却灰をセメント化する方式であり、それを日の出町の太平洋セメントの工場に搬送している状況です。この焼却灰を資源化する方式は、他の東京都多摩地域の自治体と協同して、今後も維持されるものと考えられます。

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

ご連絡、お問い合わせは電話・FAX、メールにて。Mail : yoshidaben@gmail.com